

令和6年度 内子高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	1単位	学年	2学年
教科書	高校生の音楽2 (教育芸術社)		副教材等				

1 学習の目標

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・技能を身に付け、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることに活用し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	歌唱表現 ドイツ歌曲  器楽表現 リズムアンサンブル ギター  鑑賞 能	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ歌曲を、強弱やアーティキュレーション、母音や子音の発音の仕方などに気を付けながら歌い、その意味が相手に伝わりやすい歌い方を目指します。</li> <li>楽譜の読み方について学び、実際に他者とのリズムアンサンブルを通して、リズム感を養います。</li> <li>ギターの奏法を身に付け、コード演奏ができるようにします。</li> <li>能の特徴について学びます。</li> </ul>	
第2学期	器楽表現 箏 リズムアンサンブル  創作表現 BGM 創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>箏の基本的な奏法を確認し、フレーズ感のある音楽表現ができるようにします。</li> <li>リズムアンサンブルを通して、楽譜を読む力、リズム感を向上させます。</li> <li>物語のイメージを音に表すことができるようにします。</li> </ul>	
第3学期	歌唱表現 日本歌曲 鑑賞 オペラ 器楽表現 アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語の発音に気を付けて歌い、歌詞の意味が相手に伝わりやすい歌い方を目指します。</li> <li>オペラの特徴や歴史について学びます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年間学んだことを生かし、自己のイメージを持って演奏できるようにします。</li> </ul>	

3 評価の規準

【知識・技能】

音楽の基礎的な知識と、個性豊かな音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

個性豊かな音楽表現をしたり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に活動に取り組み、積極的に音楽文化に幅広く関わろうとしている。

4 評価方法

上記の3つの観点から、実技テストや演奏発表、小テスト、ワークシート、学習活動への取り組みなどをもとに、総合的に評価します。

5 学習のアドバイス

表現活動では、自分の個性を大切に、恥ずかしがらずに自信をもって表現をしましょう。鑑賞活動では、根拠のある批評をしましょう。どの分野においても、他者の意見を受容する姿勢で取り組みましょう。日頃から多様なジャンルの音楽に興味を持ち、積極的に触れ合うことが大切です。